

平成19年度アウトソーシングアクションプラン 個別業務シート 様式2

【 郵局名 :産業技術部】

1 アウトソーシングする業務	
(1) 業務名	堆肥生産業務及び遊休農林地管理牛の飼養管理とシバ移植業務
(2) 業務の概要 (100文字以内)	1)堆肥化施設に搬入された家畜糞尿に水分調整剤(おがくず等)を混合、調整された堆肥をショベルローダーでよく攪拌し、良質の完熟堆肥生産する。 2)遊休地管理終了牛群を冬期場内放牧場で飼養するため、その間(10月～3月)の健康管理、繁殖観察、給餌等を行う 3)放牧場のシバを造成するため、移植用シバ苗をマット状又は短冊状に切断して現地移植を行う。
(3) 予算化の時期(予定)	既存予算対応
(4) 発注時期(予定)	10月
(5) 委託期間(予定)	19年11月から20年3月31日まで
(6) 担当課室 担当者	畜産試験場 野上 智成
(7) 想定する委託先	民間企業
(8) 想定する契約方法	指名競争入札
(9) 想定するアウトソーシング人役	1.0人役
2 アウトソーシングする理由(何のためにどんな役割をアウトソーシングするのか)	
試験研究部門以外の一般作業業務を民間に委託することにより、業務の効率化とコストの削減を図る。	
3 アウトソーシングの効果として重視しているもの	
(1) 県民サービスの質の向上	
(2) 民間との協働による人材育成、雇用の創出	試験研究機関として直営で行ってきた業務の一部(家畜堆肥の生産と飼育管理、放牧場の整備等)を民間に委託することで、新たな雇用の創出や研究コストの削減を図る。
(3) 県民の参画、地域の活性化	
(4) その他	